ポスター発表	会場	発表番号	演題登録番号	演題名	筆頭演者:氏名	筆頭演者:所属機関名
7/19 17:10～18:10	301 会議室	P-01	2	カウンターからベッドサイドへ 3.0の実践で変わる薬剤師の立ち位置	木村 悦久	CS Group
7/20 13:00～14:00		P-02	3	新規遠隔操作服薬監査システムの在宅医療での利便性に関して	田口 真穂	横浜薬科大学
7/19 17:10～18:10		P-03	6	弱視・インスリン注射施行中の独居高齢者に対し、薬剤師の積極的介入により服薬管理が成功できた一例 ～弱視の方向けお薬管理BOXの作成～	河本 友子	エース薬局 大森店
7/20 13:00～14:00		P-04	8	外来投薬だけでは見えてこなかった高齢者の服薬について ～薬剤師が在宅医療に関わりできること～	大澤 祐貴子	株式会社 サンクール あしたば薬局南2条店
7/19 17:10～18:10		P-05	13	オリジナルの情報提供書(依頼書)の活用 ～姫路ナンバーに密着した保険薬剤師～	五十嵐 俊貢	ゴダイ株式会社 調剤本部 在宅医療・療養支援推進部
7/20 13:00～14:00		P-06	18	薬学生・薬剤師のために開発したフィジカルアセスメント学習教材の使用状況とその課題	小野 知佐	九州保健福祉大学 薬学部 薬学科 臨床薬学第二講座
7/19 17:10～18:10		P-07	20	調剤事務の個人在宅訪問同行による効果について	大河内 裕之	株式会社 名北調剤／コスモス調剤薬局大根店／薬局事業部在宅支援室
7/20 13:00～14:00		P-08	21	薬剤師の提案による漢方薬・生薬を活用したセルフメディケーションが効果的であった便秘症患者の一例	原田 祐希	株式会社中川調剤薬局
7/19 17:10～18:10		P-09	22	地域で安全ながん化学療法を進めるためのCancerBordへの保険薬局参加と処方添付情報の検討	岸本 真	霧島市立医師会医療センター 薬剤部
7/20 13:00～14:00		P-10	23	在宅緩和ケアにおける多職種間での情報共有の重要性	島村 理瑛	株式会社アインファーマシーズ アイン薬局新八千代店
7/19 17:10～18:10		P-11	25	認知症治療薬服用患者の服薬状況に関する調査	小川 泰弘	株式会社関西メディコ サン薬局 木津店
7/20 13:00～14:00		P-12	27	仕事による焦燥感や不安感に対して葛根湯が有効であった1例	岩西 雄大	大阪府立成人病センター
7/19 17:10～18:10		P-13	29	「チームかまいし」連携手法から生まれた「医科薬科在宅医療同行訪問研修」	中田 義仁	釜石薬剤師会
7/20 13:00～14:00		P-14	30	在宅療養における薬剤師の関与ーお薬手帳の保管を支援できなかった事例から学んだこと一	髙﨑 潔子	株式会社タカサ 在宅療養連携支援室
7/19 17:10～18:10		P-15	33	薬剤師の在宅医療参画に関する多職種への意識調査	田代 智也	明治薬科大学地域医療コース
7/20 13:00～14:00		P-16	35	在宅における患者さま(ご家族)の自立した生活支援への取り組み	岩崎 恭子	イオン薬局北千里店
7/19 17:10～18:10		P-17	37	降圧薬の減量に関与した症例	斎藤 英子	こせき薬局
7/20 13:00～14:00		P-18	38	介護施設入居時における薬剤師による内服薬の整理 ～医師への処方提案により減薬できた一例～	平井 文朗	クリエイト薬局北区滝野川店
7/19 17:10～18:10		P-19	41	地域の患者を見守るために薬剤師が介入できる医療ツールに関する検討	加茂 明日佳	大阪薬科大学 生体防御学研究室
7/20 13:00～14:00		P-20	42	薬剤師が変わることでチーム医療が変わる 在宅緩和ケアの症例を通して	江口 真理子	株式会社 大賀薬局 野芥調剤店
7/19 17:10～18:10		P-21	43	香川県内における病診薬連携の改善を通じた医療の均てん化	高橋 咲衣	大阪薬科大学生体防御学研究室
7/20 13:00～14:00		P-22	48	発赤の遷延化・重篤化を薬剤服用歴確認によりプレアボイドしたパーキンソン病の一症例	手嶋 無限	開生薬局高田店、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
7/19 17:10～18:10		P-23	49	『服薬環境提示シート』を用いた多職種との地域連携の推進	岡田 和晃	セコム医療システム(株)セコム薬局杉並
7/20 13:00～14:00		P-24	50	ケアカフェからひろがる地域連携	水元 由香	医療法人洗心会 荒尾中央病院
7/19 17:10～18:10		P-25	51	在宅認知症患者の処方薬削減による生活の質(QOL)への影響	榊原 幹夫	杉浦地域医療振興財団
7/20 13:00～14:00		P-26	52	平成26年度 「健康づくり支援薬局モデル事業」 三原薬剤師会の実施状況報告	森広 亜紀	一般社団法人 三原薬剤師会
7/19 17:10～18:10		P-27	54	在宅支援に積極的に取り組む中で得られた薬剤師の意識変化と多職種連携の在り方についての考察	寺田 央子	有限会社 佐藤幹薬局 地域連携推進部／佐藤調剤薬局
7/20 13:00～14:00		P-28	56	疾患の早期発見に繋げるには ーまちかど検体測定会場の希望調査ー	小嶋 文良	城西国際大学 薬学部
7/19 17:10～18:10		P-29	57	肝硬変患者の服薬指導についての検討	山﨑 あすか	有限会社 フォレスト調剤 くりの木薬局
7/20 13:00～14:00		P-30	58	高齢者施設における薬剤師の往診事前訪問の効果	小黒 佳代子	株式会社ファーマ・プラス プラス薬局高崎吉井店
7/19 17:10～18:10		P-31	61	在宅医療におけるせん妄の発症状況に関する実態調査	縄田 修一	昭和大学横浜市北部病院 病院薬剤学講座・薬局／薬学部薬物療法学講座臨床薬学部門
7/20 13:00～14:00		P-32	62	在宅療養における薬剤師の関与 ―薬剤師訪問時のバイタルサイン採集の有効性―	菊池 晴美	薬局タカサ 市川若宮店
7/19 17:10～18:10		P-33	63	保険薬局におけるお薬手帳の利用の実態調査ならびにその利用促進策「お薬手帳管理制度」の提言	天野 富美夫	大阪薬科大学 生体防御学研究室
7/20 13:00～14:00		P-34	64	終末期患者の退院時共同指導での薬局選択の重要性	前川 史門	岐阜薬科大学 実践社会薬学研究室
7/19 17:10～18:10		P-35	68	改めて「どんな薬剤師になりたいか？」ー薬学部1年生・1年後の意識	鈴木 勝宏	日本薬科大学 臨床薬学教育センター
7/20 13:00～14:00		P-36	71	薬局に来局される外来患者に対して在宅医療のニーズがあるかを探る	川島 敦	やまのべ駅前調剤薬局
7/19 17:10～18:10		P-37	72	北海道薬科大学在宅医療研究会におけるバイタルサイン・フィジカルアセスメント講習	藤本 哲也	北海道薬科大学
7/20 13:00～14:00		P-38	75	日在薬バイタルサイン講習会ディレクター楽校実施報告～第2報～	岸 雄一	上尾中央医科グループ 前橋中央眼科
7/19 17:10～18:10		P-39	74	地域包括ケアに求められる薬物療法を提供するために必要な業務の検討～すみだ在宅薬物療法研究会を開催して	勝野 純子	りんご薬局 立花店／墨田区薬剤師会
7/20 13:00～14:00		P-40	77	PTP誤飲事故防止のための次世代錠剤包装(ESOP)の開発	盛本 修司	株式会社モリモト医薬
7/19 17:10～18:10		P-41	78	在宅でも容易に使える「高速簡易懸濁・使い捨て注入バッグ」の開発	兼次 眞貴子	株式会社エスメド医薬／株式会社モリモト医薬
7/20 13:00～14:00		P-42	9	地域の健康ステーションになるために(検体測定室登録を行って)	鈴木 康友	株式会社 横須賀薬局 森のシティ薬局